

すわか文化村第68回企画 若者と人類にとって希望ある世界を探る 第2弾

ドキュメンタリー映画

# かすかな光へ

-93歳の教育研究者・大田堯の挑戦-

無縁社会 不安と混乱の時代  
きずついた世界に射す  
ひとすじの光 それは…



監督 森 康行 詩「かすかな光へ」 作・朗読 谷川俊太郎 (2011/84分)

生きるとは、学ぶとは・・・

時代の流れとともに、人、地域、社会…などのつながりが希薄になり、“きずな”の大切さが再考される中、そして3.11震災後には多くの方が生き方を見つめ直している今、戦前戦後を通して日本の社会と人間を見つめ、教育のあり方を問い続けてきた大田堯の姿を通して未来を見つめるドキュメンタリー映画。

戦争体験を経て、様々な生活現場に生きる人たちとふれあう中で進めてきた大田堯の教育研究は、「教え育てる」という既成の教育観を根底から覆すものだった。

●小山内美江子 (脚本家)  
ちがっているということに生命の特徴がある、関わりの中に生命がある——など、すばらしい言葉があってハッとさせられる。それが学習・教育だと思った。若者にも、高齢者にも観てほしい作品である。

2017 1月8日 (日)

3回上映 午前10時/午後1時/4時 上映開始

自由参加のおしゃべり会あり

会場

諏訪湖ハイツ (おやか総合福祉センター TEL0266-24-2290) コンベンションホール(中3階)

参加費

1000円(中~大学生500円)

お問合せ

TEL 080-1040-7463